

再評価結果（平成25年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

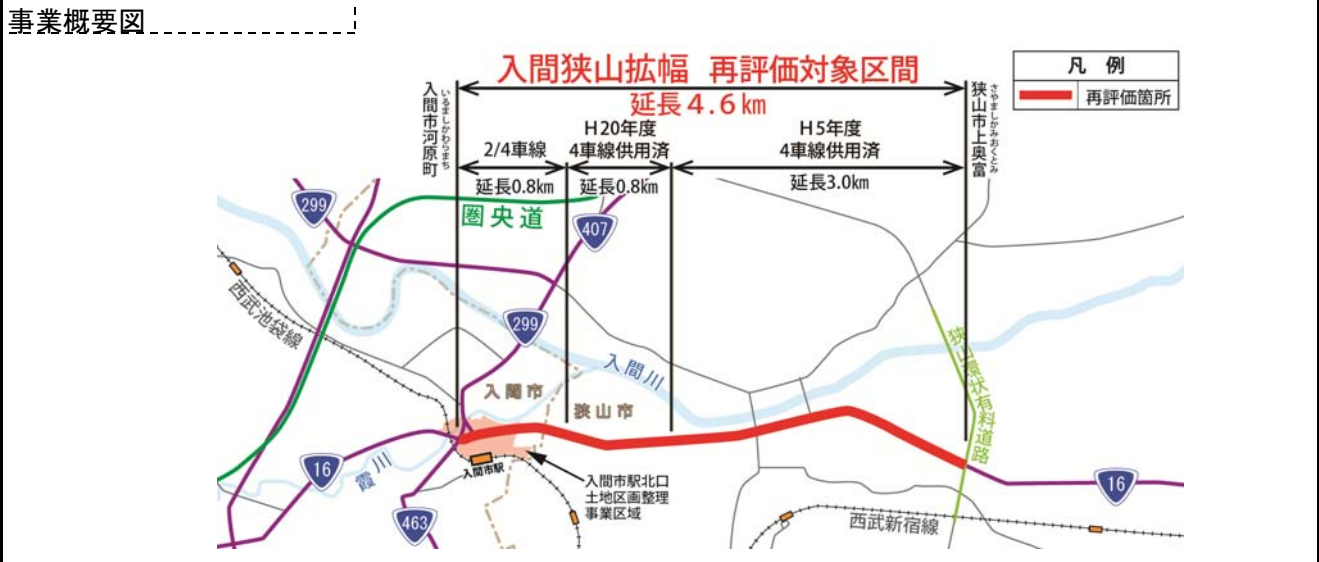
事業名	一般国道16号 <small>いるま さやまかくふく</small> 入間狭山拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 関東地方整備局							
起終点	自：埼玉県入間市河原町 <small>いるましかわらまち</small> 至：埼玉県狭山市上奥富 <small>さやまし かみおくとみ</small>			延長	4.6km							
事業概要	<p>国道16号は東京環状道路とも呼ばれ、神奈川県横浜市、東京都八王子市、埼玉県入間市、川越市、さいたま市、春日部市、千葉県千葉市、木更津市など都心から30～40km圏の主要な都市を通過する延長約330kmの重要な道路である。入間狭山拡幅は、交通渋滞の緩和、安心・安全な歩行空間の確保、まちづくりへの支援を目的とした延長4.6kmの現道拡幅事業である。</p>											
H46年度事業化	H39年度都市計画決定 (H12年度変更)	H46年度用地着手	H47年度工事着手									
全体事業費	約158億円	事業進捗率	90%	供用済延長	3.8km							
計画交通量	35,700～52,500台/日											
費用対効果 分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;">B/C (事業全体) 1.9</td> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;">総費用 (残事業)/ (事業全体) 16/302億円</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">(残事業) 11.0</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">事業費：14 / 288億円 維持管理費：2.4 / 14億円</td> </tr> </table>	B/C (事業全体) 1.9	総費用 (残事業)/ (事業全体) 16/302億円	(残事業) 11.0	事業費：14 / 288億円 維持管理費：2.4 / 14億円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;">総便益 (残事業)/ (事業全体) 175/561億円</td> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;">基準年 平成24年</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">走行時間短縮便益：156/511億円</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">走行経費減少便益：4.1/ 33億円</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">交通事故減少便益：15/ 17億円</td> <td></td> </tr> </table>	総便益 (残事業)/ (事業全体) 175/561億円	基準年 平成24年	走行時間短縮便益：156/511億円	走行経費減少便益：4.1/ 33億円	交通事故減少便益：15/ 17億円	
B/C (事業全体) 1.9	総費用 (残事業)/ (事業全体) 16/302億円											
(残事業) 11.0	事業費：14 / 288億円 維持管理費：2.4 / 14億円											
総便益 (残事業)/ (事業全体) 175/561億円	基準年 平成24年											
走行時間短縮便益：156/511億円	走行経費減少便益：4.1/ 33億円											
交通事故減少便益：15/ 17億円												
感度分析の結果	<p>【事業全体】交通量：B/C=1.8～1.9（交通量 ±10%）【残事業】交通量：B/C= 10.4～11.4（交通量 ±10%） 事業費：B/C=1.7～2.1（事業費 ±10%）事業費：B/C= 10.1～12.0（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=1.8～1.9（事業期間±1年）事業期間：B/C= 10.6～11.9（事業期間±1年）</p>											
事業の効果等	<p>(1) 交通混雑の緩和 ・国道16号入間狭山拡幅の損失時間は、211.2千人時間/年・kmと、全国平均（26.3千人時間/年・km）の約8倍である。入間狭山拡幅の整備により、国道16号の交通渋滞の緩和が見込まれる。</p> <p>(2) 安全安心な通行の確保 ・死傷事故率は116.5件/億台kmと、全国平均（102.0件/億台km）の約1.1倍となっている。 ・事業区間の2/4車線区間は歩道も未整備であり、4車線化整備により、安全・安心な歩行空間が確保される。</p> <p>(3) まちづくりへの支援 ・入間狭山拡幅は、入間市が都市づくりの一環として進めている「入間市駅北口土地区画整理事業」の骨格道に位置付けられ、入間狭山拡幅を中心とする道路網の体系的整備を支援する道路である。</p>											
関係する地方公共団体等の意見	<p>埼玉県知事の意見： 一般国道16号は首都圏を環状に結ぶ幹線道路であり、本県のみならず首都圏にとっても大変重要な路線であります。 対象区間の完成のため、事業の継続が必要です。 なお、事業実施に当たっては引き続きコストの縮減に努めていただきたい。</p>											
事業評価監視委員会の意見	<p>事業の継続を承認する。</p>											
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>入間市駅の北口駅前のまちづくりとして、土地区画整理事業を実施中。</p>											
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>平成5年度から平成20年度にかけ狭山市鷓ノ木～狭山市上奥富の延長3.8kmが供用。 残り0.8kmのうち、平成24年度に0.4kmを供用すべく工事中。土地区画整理事業と連携し、用地取得及び工事の促進を図る。</p>											

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等
土地区画整理事業と連携し、用地取得を進めている。

施設の構造や工法の変更等
—

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由
以上の事業の効果及び進捗状況、関係する地方公共団体等の意見、事業評価監視委員会による審議を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。